＜平成 26 年度＞

下水道部の運営方針

下水道整備室
下水道管理課
下水道施設維持課

■基本情報■

＜担当事務＞

（1）下水道に関すること。

（2）公設浄化槽に関すること。

＜部の職員数＞H26 年 4 月 1 日現在

正職員	93 名
再任用職員	17 名
任期付職員	- 名
非常勤職員	1 名
合計	111 名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■ 基本方針 ■

下水道部では、「水環境の保全･快適な生活環境の創造、安全・安心な市民生活の確保」をめざし、平成 25 年 4 月に策定した「上下水道ビジョンや下水道事業経営計画」に基づき、公共下水道の整備や浸水対策事業を行い、一層の経営改善に取り組みながら着実な事業執行と健全経営の両立に努めます。

平成 26 年度における公共下水道の汚水事業については、住居系地域での平成 30 年度概成をめざし、引続き中部地域と東部地域を中心に整備を進めます。また、雨水事業については、新安居川ポンプ場の拡張整備を進めるとともに、地域課題の浸水対策にも取り組みます。

さらに、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、ハード対策の取組みとソフト対策を合わせて進めます。

Ⅰ　重点施策・事業

◆公共下水道汚水整備事業

中部及び東部地域を中心に汚水整備事業を展開するとともに未承諾地区や整備困難地区の解消にも取り組み、人口普及率で 95.1％の整備をめざします。

◆公共下水道雨水整備事業

地域課題の浸水対策として、雨水管整備に取り組むとともに、新安居川ポンプ場及び溝谷川ポンプ場の排水能力のさらなる向上をめざし整備を進めます。

◆下水道浸水被害軽減総合計画作成事業

浸水被害の軽減に向け、蹉跎排水区では、下水道浸水被害軽減総合計画に基づくハード対策として、雨水貯留施設整備の実施設計等に着手します。また、楠葉排水区において新たに下水道浸水被害軽減総合計画の策定を進めるとともに、流域関連公共下水道計画変更など、必要な下水道計画策定を進めます。

◆下水道施設情報管理システム構築事業

老朽化に伴う下水道施設の維持修繕や耐震化、長寿命化計画策定に向けての基礎データとなる下水道施設情報管理システムを平成 26 年度末に構築します。

◆下水道施設の適正な維持管理

浸水対策への初動体制の強化として、溝谷川ポンプ場･安居川ポンプ場･蹉跎ポンプ場の３箇所でポンプ場の初期自動化を引続き進めます。

また、北部地区などで、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能確保を図り、道路陥没等による機能障害を未然に防止します。

Ⅱ　行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン（前期）の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
33.技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの確保や効率化等の観点から検証を行い、効果的な業務執行体制を構築する。
41.③下水道事業経営健全化	公費負担の在り方検討・積極的な公共下水道接続の働きかけ。

＜事務事業総点検に係る対応＞

事務事業	取り組み内容・目標
公共下水道計画事務（汚水）	ビジョン及び経営計画に基づき、平成 30 年度を目標に住居系地域の汚水整備を概ね完了させる。
公共下水道計画事務（雨水）	ビジョン及び経営計画に基づく整備と新たな浸水対策として、下水道浸水被害軽減総合事業を進める。

＜業務改善運動のテーマ・目標＞

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	訓練実施の強化と部内マニュアルの周知徹底。

Ⅲ　予算編成・執行

◆浸水被害の軽減を図るため、下水道事業経営計画に基づく雨水整備事業の推進に加え、新たに策定を進めている下水道浸水被害軽減総合計画による国費を活用した雨水貯留施設等の整備に向けた予算としました。

◆老朽化に伴う施設の更新や維持修繕、浚渫など、下水道施設の適切な機能管理を行うための予算を確保しています。

Ⅳ　組織運営・人材育成

◆平成２７年度中に予定する上下水道事業の執務場所の統合に合わせて、お客さまにとって便利でわかりやすく、職員にとっては業務効率の良い組織体制の構築をめざし、上下水道組織の再編に向けた準備を進めます。

◆浸水対策・下水道施設長寿命化計画等の検討を進める上で、部内で横断的なチームを活用する事で効率的な組織運営を図ります。

◆建設事業の設計や施工管理など、技術的･専門的な業務が多いため、必要な専門研修に積極的に参加し、部内で研修成果を共有化することで、職員のスキルアップを図ります。

Ⅴ　広報・情報発信

◆＜経営評価･基本施策評価の周知＞
「上下水道ビジョン及び下水道事業経営計画」に基づく、事業の進捗管理、事業効果や経営状況などについて、外部評価を行い、市ホームページ等で市民周知を図ります。

◆＜下水道事業の PR＞
下水道浸水被害軽減総合事業や土のうステーション事業などの新たな浸水対策や下水道に関する情報を広報ひらかたや出前講座、FM ひらかたなどの地域メディアを活用し、積極的に情報提供します。

（出前講座の状況）